

～色々な国について、興味や知識を広げる取り組み・ICTの活用～

自分達で作った民族衣装で、ファッションショーをしよう！

芦屋市立西蔵こども園 5歳児 くじら組・らいおん組

6月、つばめの絵本に出てきた「マレーシアって、どこにあるの？」という疑問から、様々な国や国旗に興味をもち始めた子ども達が、それぞれの着てみたい世界の民族衣装を作って、ファッションショーをすることにしました。

【制作の様子】



たくさんの素材から、色や形、長さなどを考え、自分たちの思い描く、世界の民族衣装を作っていました。

【ファッションショー】



それぞれ、自分で作った民族衣装を着て、長い廊下のランウェイを歩きました。小さいクラスのお客さんから、たくさんの拍手をいただきました。

【ICTを活用して、カメラマンに！】



カメラマン役の子ども達がタブレットを使って、モデル役の友だちを撮影しました。大人顔負けの、カメラワークで、リラックスした、自然な表情が撮れていました。

【プロジェクターに映して、プレゼンテーション】



友だちが撮ってくれた写真をプロジェクターに映し出して、「みんなに見てほしかったところ」をプレゼンテーションしました。ちょっとり恥ずかしかったけれど、自分の言葉で伝えていました。

【4歳児 いるか組・くま組との交流】



「これ着たい！」「いいよ。着せてあげる！」4歳児にとって、憧れの5歳児と異年齢交流を楽しみました。

これからも総合的な保育・教育活動の中で、実体験をより豊かにするためのひとつのツールであるICT等も取り入れながら、様々な主体的な経験を積み重ねていきたいと思えます。